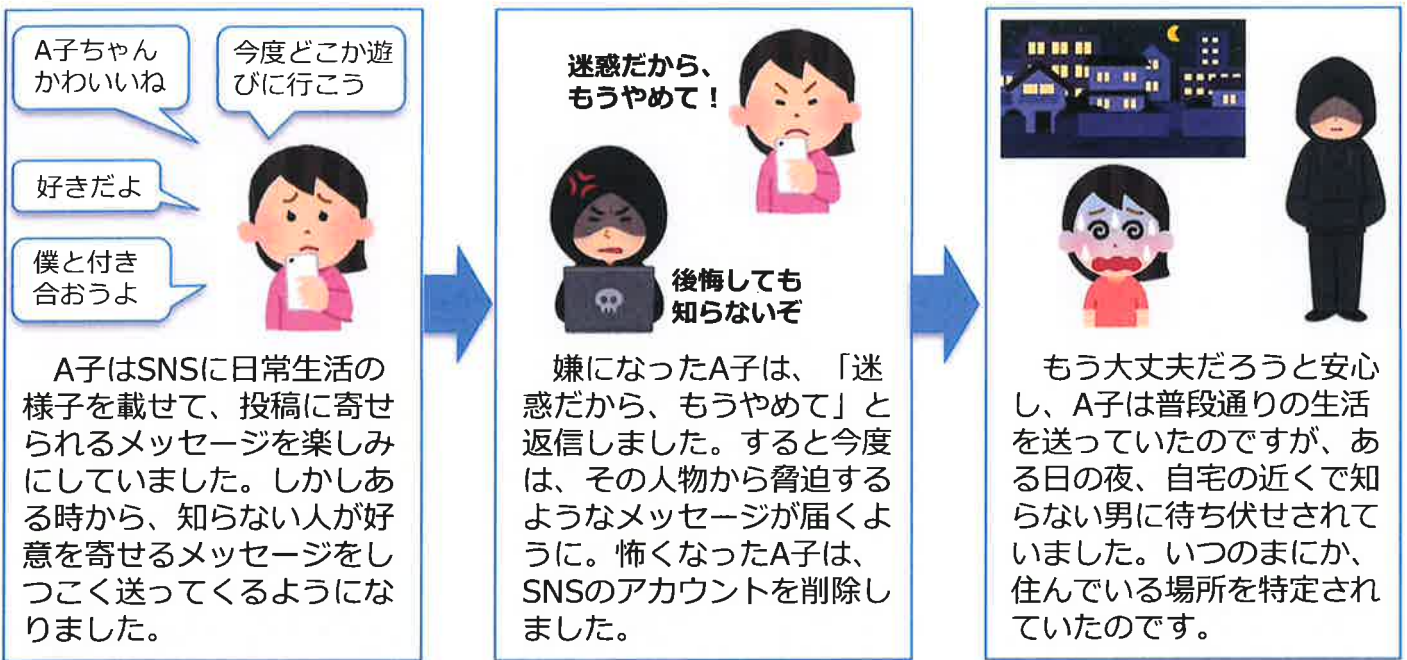


ネットストーカーの実態について

インターネットを使って、特定の人にしつこくつきまとう人たちのことを、ネットストーカーと言います。SNSなどのサービスが普及し、面識のない人と気軽にコミュニケーションをとったり、知らない人の日常生活の様子を垣間見たりすることができるようになった一方で、ネットストーカーによるトラブルが増加しています。

ネットストーカーの被害の例

ネットストーカーとは、具体的にどのようなことを行うのでしょうか。ここでひとつ例を紹介したいと思います。



他にも以下のような被害にあう可能性があります

- 匿名掲示板に誹謗中傷の書き込みをされる
- 卑猥なメッセージや画像を送りつけられる
- 個人情報特定され、インターネット上のさまざまなサイトに掲載される
- SNSなどのパスワードを特定され、アカウントを乗っ取られる
- 自分になりすましたアカウントを作成され、不適切な書き込みをされる

ネットストーカーがストーキング行為をはじめるときっかけはさまざまです。顔写真を見て好意を抱いたことがきっかけになるケースもあれば、SNSの投稿に反感を抱き、嫌がらせ目的でストーカーをはじめるといったケースもあります。



ネットストーカーの被害にあう危険性を減らすためには、自分や友だちの個人情報をインターネットに載せないようにすることが必要です。また、もしネットストーカーの被害にあった場合は、絶対にメッセージを送り返さず、すぐに周りの大人たちに相談するよう、子どもたちに指導してください。その際、警察等に相談することを考えて、証拠として相手の書き込みを保存しておくことも重要です。